五省会ニュース

発行所
特定医療法人五省会西能病院
〒930-0884 富山市五福1130
TEL (0764) 41−2481(代)
発行人 西能 正一郎

五省
一、至誠に悖るなかりしか
一、言行に恥ずるなかりしか
一、気力に欠くるなかりしか
一、努力に憾みなかりしか
一、不精に亘るなかりしか

新春随想

今こそ女性の生活感を
経済危機を救うその底力

兼久文治

「米をよそへやるから高くなるがだちゃ」「ジョーキ（汽船）に米を積ませんようにせんまいけ」と、貧しい魚津の漁師の主婦たち四十六人が話し合ったのが、歴史に残る「米騒動」の序曲だった。（北日本新聞社「米騒動」より）大正七年の夏のことだ。「米の移出反対」「米の安売り」の火は燃えた。全国に波及した騒動は、ついに当時の寺内内閣を崩壊させた。

◇

今、そんな歴史をひもとくのは、別に、越中女性の心意気や行動力をいおうとするのではない。論じたいのは、生活そのものが足もとから揺らぎ出した時、その危機感に女性が最も敏感に反応し、その救済に立ち向かうということなのである。

◇

大正から昭和にかけて、貧困のどん底にあった農村の娘たちは、身売り同様に製糸工場になだれ込み、全国三百万人といわれる女性が虐げられ、いやしめられた歴史を、世に「女工哀史」と呼んだ。これにはいろいろな問題、見方があろう。が、見落としがちな一つの事実がある。「チンカラ」の手織機から「ガチャガチャ」の足踏み機を操る女子工員たちは、やがて「バッタン」と呼ぶ動力機械に取り組むことになる。イギリス産業革命の契機となったその導入は、わが国にも機械工場時代への大転換をうながし、日本資本主義の原動力となった。それを支えた主力が、まだ十代の農村少女の技術だったことを忘れてはなるまい。

◇

第二次世界大戦直後、灰燼と飢えにさらされた敗戦日本。その虚脱にヤケ酒をあおりながら仕事探しに走り回る男性たち。それを激励しながら、現実的な毎日の生活を支えていたのはだれだったか。黙々と売り食いに歩き、満員のヤミ列車にもまれて買い出しに体を酷使して家族を支えたのは主婦たち女性群像ではなかったか。

◇

いざという時に、現実の生活に足をつけて、地道に、こつこつとねばり強く、子供たち家族を守るシンの強さ―それこそ日本女性の姿という気がする。

今、アジアから世界へとうねる経済危機に直面し、日本は高度成長が急転し、バブル崩壊に続くかってない不況―わが国は産業構造、金融システムなど、すべての経済を国際的視野から抜本的見直しを迫られている。どうしたらよいか。政府も官庁も企業も個人も、じりじりと追い込まれて戸惑い、立ち止まり、行先の不安におびえている。一九九九年から二〇〇〇年の世紀末、日本はこれまでにない試練に立つ。この危機を肌に感じとり、生活防衛に立ち上がり、圧力をはねのける戦士は女性たちではないか。女性よ、起て。この期待を今年年頭の祈りにこめたい。

（文芸評論家　富山市）

五つの〝S〟の実行を

西能 竑

あけましておめでとうございます。

お正月は、新しい年に、希望と期待をもって迎えたい思いでありますが、昨今の世の中の状態をみますと、今年も厳しい一年の幕開けであると予測されます。

医療費削減を最優先とする厚生行政は、次々と、医療現場への難題を要求し、医療機関は、まさに、サバイバル時代となっております。さらに、二〇〇〇年に実施される、医療保険制度の抜本改革や、介護保険の導入など現時点では行政自体の具体的方針が明確ではありませんが、より早く情報を得て、病院としての対応と方針決定が必要であります。

医療機関のサバイバル時代を乗りきるために

西能病院の医療現場としましては、病院の理念である、〝信頼と奉仕〟のもとに、医療のサービスと技術の向上が第一であり、地域の皆さんに信頼される医療活動を今年も継続していくつもりであります。

一九九九年のスタートにあたり、西能病院職員の心得〝五つのS〟を提言いたします。

- 清潔のS
- 正確のS
- スピーディーのS
- 誠意のS
- サービスのS

常識と言われるとその通りでありますが、常識を実行することがむずかしいのであります。五つの項目はすべて重要であり優先順位はありませんが、病院の性格上、清潔を第一のSとしました。治療における感染の予防、院内環境、服装についても、清潔は重要であります。

与えられた業務を正確に遂行することは、事務系にも医療現場にも必要であり、特に医療ミスが発生しないように望むものです。スピーディーは、仕事の効率を良くし、テンポ良く作業を行うために大切ですが、清潔と正確が実行されてはじめて求められるものでしょう。

誠意、サービスは、患者さまの対応に望まれる項目であります。

誠意は、心の問題であり、サービスは行動であります。心と行動が一致してはじめて、よりよい接遇、対応ができるものと思います。

〝五つのS〟を医療人の心得とし、病院のレベルアップを展開したいと思います。

本年もよろしくお願い致します。

あすなろ

一九九九年。明けましておめでとうございます。今年はウサギ年ですね。ウサギといえば何を思い出しますか。

へウサギ、ウサギ、何見てはねる、十五夜お月さん見てはねる…の童謡でしょうか。月にウサギの影を見るのは、実は日本人だけではありません。世界各地―中国はじめアメリカ、アフリカの一部でも月とウサギを結びつけているのです▼では、おとぎ話の「ウサギとカメ」はどうでしょう。ウサギが昼寝をしてカメとのレースに負ける例の話です。が、残念ながら、この話も日本特有のものではありません。この話は紀元前からギリシャに伝わる有名なイソップ物語の中にあるのです。日本には、ずっと遅れて江戸期に「伊曽保物語」として出版されました▼ところで、ウサギは、一匹、二匹…でなく、一羽、二羽…と鳥のような数え方をするのをご存じですか。昔、人々は野ウサギを捕えるのに、山の下に網を張り、大勢で一斉に網場に追いこんで鳥のような捕り方をしたからといいます。また、昔は食肉としても貴重で、とくに近世日本では愛用、江戸幕府では元旦にウサギの肉の吸物を出すのが吉例だったそうです▼でも、一般人のウサギ飼育は遅く明治期に入ってから。毛皮としてアンゴラ種が一時は大変なブームでした▼ではウサギのように、やさしく、今年もこの欄をかわいがって下さい。

平成十一年
特定医療法人　財団五省会
本年もよろしくお願い申し上げます
謹春

理事長 西能正一郎
常務理事 中永久光
理事 西能竑
理事 中尾哲雄
理事 堀江章彦
理事 米田寿吉
監事 石川実
監事 筧田英二
評議員 稲垣忠一
評議員 大上紀美雄
評議員 神沢幹夫
評議員 河上弥一郎
評議員 西能綾子
評議員 西能孜
評議員 坂倉ナミ
評議員 坂本重一
評議員 笹山真治郎
評議員 土田亮一
評議員 森政雄
評議員 山本二郎
評議員 鷲山浩一
西能病院職員一同

寄稿

療養型病床群ってなんだろう？①

高齢者医療の新しい考え方―メディ・ケア

整形外科　浅野　裕医師

①どうして今、療養型病床群が作られたのですか？

今、日本は全人口に対する六十五歳以上のお年寄りの占める割合が、14％を超える高齢社会となっております。

そのため、医療全体に対しお年寄りの医療が占める割合も大きくなってきております。そして、政府としてはお年寄りに対する医療のあり方を、根本的に見直すこととなったわけです。その結果、現在までのお薬とベッドでの安静を中心とした医療が、お年寄りの病気の多くを占める慢性疾患に対して、必ずしも有効ではないとの反省に基づいて、今、療養型病床群が作られたのです。

②慢性疾患ってどんな病気のことですか？

慢性疾患とは、経過の長い病気のことを指します。慢性疾患がどんな病気であるかを理解するためには、対応する言葉としての急性疾患を理解する必要があります。

急性疾患の特徴としては、経過が一時的であることがあげられます。そして、昔からの医療が目指してきたのは、実は急性疾患の治癒なのです。すなわち、病気とは、正常状態から一時的に離れてしまった状態であると考え、医療の目的とは、病気を治す（排除する）ことであると、考えてきたわけです。

この場合、病気になった人は一時的に病人としての役割を果たせば良いわけですから、病気と共に生活することはあまり考えなくても良かったわけです。

しかしながら、病気の種類によっては、こういう考え方が通用しない場合があります。なかなか治らない病気（慢性疾患）の場合は、病気を排除しようとしても無駄な努力に終わることがしばしばです。慢性疾患とは、そのような病気を意味しまして、当然、今までの医療とは異なった考え方が必要となります。

③治らない病気は、どうしたら良いのでしょうか？

治らない病気に対する考え方として、実は昔から良い言葉があったのです。すなわち、「一病息災」という言葉です。現代のお年寄りは、一病というよりは三病も四病ももっていることが普通ですが、考え方は一緒です。

病気を排除するものと考えずに、病気に適応していくと考えることです。つまり医策を考え、行っていくことが不都合を減らしていく方法となります。

不都合（＝障害）を減らし、日常生活が成り立つようにする過程を、広い意味でのリハビリテーションといいます。そして、具体的な方法といたしましては、従来から行われている病気に対する医学的（＝メディカル）処置に加え、日常生活の問題解決に必要な介護（＝ケア）を同時に行っていくということです。

これをメディ・ケアといい、21世紀のお年寄りに対する医療、保健、福祉のキーワードになります。

（次号に続く）

健康教室⑦

高血圧

～病態と非薬物療法について～

講師＝五艘有紀子医師

血圧について

血圧とは、全身を循環する血液が血管壁に与える圧力のことです。

上（収縮期血圧）と、下（拡張期血圧）のどちらかでも高血圧の数値範囲だと、高血圧と見なします。また境界型高血圧も、高血圧に移行する可能性が高いので、油断は禁物です。

血圧が上がる仕組み

血圧を上げる要因には心拍出量の増加、血管の抵抗性、循環血液量の増加があります。引き起こすものには次の三つが上げられます。

①動脈硬化　血管の壁の傷や、過剰なコレステロールが原因で、血管が狭くなり、血液の流れが悪くなる。

②体内ナトリウム量の増加　過度に摂取した塩分を薄めるために水分が血液中に引き込まれ、血液の全体量が増えて、血圧が高くなる。

③交感神経の活発化・昇圧ホルモンの分秘　何げない行動でも神経が高ぶり、血圧の一過性上昇が見られる。

高血圧の合併症

血圧が高い状態が続き、血管に過度の負担がかかると、傷ができやすくなり、そこにコレステロールなどが沈着し、血管内腔が狭くなります。高血圧は自覚症状がなく、突然、脳卒中や腎不全、心筋梗塞、心不全などの合併症が起きることもあります。日頃から測定する時間を決め、血圧を管理しましょう。

運動療法について

運動療法には、自分の最大心拍数の70～80％の心拍数の運動が適切です。水泳やジョギング、ウォーキングなど、全身を使った運動を、一回20～30分、週二～三回行いましょう。

食事療法について

高血圧の非薬物療法としては、食事療法に最も重点を置き、その上で運動療法や減量、禁煙などを行います。

①減量・減塩とカリウム摂取　塩分は一日6～8グラムが目安。塩分排泄を促進するカリウムを多く含む緑黄色野菜や果物を多くとること（腎疾患がある場合は除く）。また減量すれば血圧も下がる。

②カルシウムの多い食品　成人の一日のカルシウム所要量は600mg、高齢者は800mgが目安。吸収を促すビタミンDと一緒に。

③植物油、魚の摂取　リノール酸やエイコサペンタエン酸、ドコサヘキサエン酸には血管を広げる作用がある。大豆やとうもろこし、ゴマ、サンフラワーなどの植物油や、背の青い魚の摂取を心がけること。

（十一月十一日の健康教室を再構成）

WHOによる血圧の分類

下記は、10年間以上の調査結果に基づき、血圧による臓器障害がなかった範囲の数値を「正常」とし、臓器障害が現れる確率が高かった範囲を「高血圧」としている。

	収縮期血圧		
	140mmHg未満	140mmHg以上160mmHg未満	160mmHg以上
90mmHg未満	正常		
90mmHg以上95mmHg未満		境界型高血圧	
95mmHg以上			高血圧

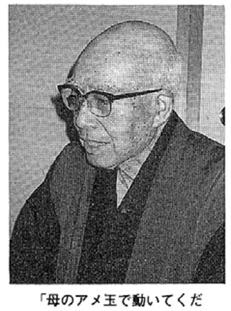
いまを生きる

西能正一郎対談シリーズ

悔いなき人生④

元上市町長　清水美晴氏

県会議員のあと、上市町長選出馬を勧められた清水氏。上市町の持っているものは何か、何が望まれているのか、何が足りないのか再発見していこうと決意して当選。以来二十年間の町長時代を振り返る――。



「母のアメ玉で動いてくださった」と清水氏

選挙の支援は母のおかげ

西能　清水さんが県会議員に当選された時、あなたの魅力はもちろんですが、お母さんの人気で人が集まってくれたそうですね。

清水　はい。私の母はとても気前がよくて、人にものをやるのが好きでした。家の横の通学路を通る子供達にアメとか草餅とかスモモとかなんでもやってしまうんですよ。

西能　子供が一人だけだから余裕があったんですかね。

清水　いえいえ。私にくれないでもよその子にやってしまうんですよ。おらになんでくれんのか、と言って暴れて泣いた記憶もあります。（笑）

西能　そんなお母さんだからみんなから慕われていたんですな。

清水　そうです。その時の人気だと、私の後援会の人達の攻撃の矢が町長に向かったんです。それで、今度は私が町長と選挙することになりました。うらみが次から次につながっていく。これも、最初に僅差で勝つような無理な選挙をしたためです。

西能　それで、昭和四十二年から四十六年が県議、四十八年から町長ということになったんですな。

上市町再発見を掲げて町長に

清水　まあ、最初はいくら町長選に出馬しろと言われても、その任務の重大なことを考えると、そんなに簡単に返事はできません。迷っていたら、知人からある和尚さんを紹介されたんです。

和尚さんは「自分の野望を遂げるための選挙なら負けますよ。あなたの町の、現在、未来にわたっての問題は何かを見つけ出すことです。町を少しでも良くするための何かを見つけ出さない限り、あなたには迫力が出ない。上市町の将来に向けて何を伸ばそうとするのか、将来伸びるところはどこか、また伸ばすべきものは何かを見つけなさい」と。

それでひらめいたのが「上市町再発見」という言葉です。

西能　ほお、当時としては新しい感覚の言葉ですね。その和尚との話がヒントになって決心がついて、それから町長を二十年間、長い間ご苦労様でした。

清水　あっという間で、二十年が一日のような気がします。なんせおもしろかったんです。（笑）

西能　思ったことを着々と実現されましたからね。

清水　思ったことでできなかったのが一つ二つありますが、それらは時間がかかると思っていたもので、そのとおりでした。

西能　富山まで十分間で行けるように交通網を整備する、というのがありましたな。

清水　今の町長もそれを言っています。

西能　こちらのお宅まで来るのに、車で十六、七分でした。もう少しですね。

町長の時の仕事で、一番印象に残っているのは何ですか。

清水　焼却場を作ったことですね。町長一期目でしたが、前の町長の時から問題になっていた件でしてね。

上市町じゅう、候補地を尋ね歩いたんですが、どこへ行ってもそういうもんはいらんと言うんです。（笑）

西能　それは大変でしたね。

清水　結局は、移転してほしいと言っている元の場所に作り直すしかない。それで、説明会を開いたけれど、最初は聞いてくれる者はいないんです。でも、毎日毎日行ったら、全体会議を開いて相談してみようということになりました。

当日、「選挙のときにお前はここには作らないと言ったではないか。一度吐いたつばは飲めないだろう」と詰問され、「一度吐いたつばでも飲みます」と、畳に額をすりつけて懇願しました。

区長が、「町長がここまで言うし考え直そう」と応援してくれて、ほかの人も「これだけ言うとるし、吐いたつばを飲ませたらどうや」と言いましてね。私がすぐに「飲ませてください」と言ったので、「その気持ちで後始末をつけろ」ということになりました。

西能　腹が据わったお方だ。

清水　その話が町に伝わって、清水はエライもんだとにわかに評判になりました。

条件として出された要望を次々に実行し、そのなかでも体育館新設は喜ばれました。なにしろ、私の話を聞いた知事が用地を無料でくれまして、そこに船舶振興会が三億円の社会体育館を建ててくれたのです。町が少しの負担をすることもなく、邪魔なのでまったくの裸ですが、別に見とる者もおらんし。（笑）

清水　そのほかに健康法というわけではないけれど、山歩きが好きです。でも、この頃は一人では行かせてもらえません。

西能　なんといってもご高齢ですから、ご家族が心配されるんでしょう。

清水　山へ行って転んだ拍子に頭を傷つけたんです。血だらけになって自転車で家に帰ったんですが、後遺症が起きたりしたもんですから、それ以来、山へ一人で行かれんと、妻に止められるがです。

西能　いやあ、気をつけんとあきませんね。

清水　いやあ、気をつけんとあきませんね。私も車にはねられて以来、車の運転をさせてもらえません。家内というのはやかましいもんであります。（笑）

楽しく元気の出るお話を長時間ありがとうございました。（完）

健康の秘訣は裸で寝ること

西能　清水さんは平成五年まで町長を務められ、今は九十才になられますが、お元気でつばでも飲みますね。何か健康の秘訣はあるんですか。

清水　秘訣と言えるかどうか、親が子供の頃から、裸にしとかんと強くならんと言うて、寝る時は裸にさせました。それで、今でも裸で寝ているんです。

西能　いやあ、実は私も裸で寝ているんですよ。小便へ行く時は寒いですがね。（笑）

清水　そうそう。冬は寒いので八時ごろまで寝ているんですが、さすがに小便したくなってね。裸で行ってくると布団にもぐりこんで、また寝るがです。（笑）

西能　下着のゴムも邪魔なのでまったくの裸ですが、別に見とる者もおらんし。（笑）

清水　そのほかに健康法というわけではないけれど、山歩きが好きです。でも、この頃は一人では行かせてもらえません。

西能　なんといってもご高齢ですから、ご家族が心配されるんでしょう。

清水　山へ行って転んだ拍子に頭を傷つけたんです。血だらけになって自転車で家に帰ったんですが、後遺症が起きたりしたもんですから、それ以来、山へ一人で行かれんと、妻に止められるがです。

西能　いやあ、気をつけんとあきませんね。

清水　いやあ、気をつけんとあきませんね。私も車にはねられて以来、車の運転をさせてもらえません。家内というのはやかましいもんであります。（笑）

楽しく元気の出るお話を長時間ありがとうございました。（完）

大地を踏む ⑱

痛みとうまくつきあっていきたい

「足腰にあまり負担をかけないよう気を付けています」（自宅にて）

米原勝次さん（富山市四方南町・七二）は、この道四十年以上という漁師さん。腰の手術のために、平成十年八月二十一日から十月十日まで、西能病院に入院していました。

十二月初めに取材にうかがったところ、退院後、すぐに早朝から漁に出かけているとか。腰の具合を尋ねると、「はじめは肩のほうが痛かったんだよ」と、意外な答えです。

八月の初めに肩の痛みが気になって、三日間ほど検査通院した米原さん。そのうちに立ったり座ったりすると、左脚にピリピリと痛みが走るようになりました。

「でも病院では腰が悪いのが原因だと言われて、驚いたな」

手術を勧められましたが、そのためには漁を長期間休まなくてはなりません。迷っている十日ほどの間に、痛みはますます強くなっていきます。「先生は手術したほうがいいと言うし、困ったよ。一晩よく考えてみられ、と言われて、ようやく決心したんだ」

とにかく早く退院したかった、と米原さん。手術後一週間で開始したリハビリも、持ち前の気丈さからか、さほど辛くはなかったと言います。「でも、退院して家に帰ったら、なんだかすごく疲れてね。茶碗を洗ったりするのが、思った以上に足腰に辛かった」

実は、米原さんは前年に奥様が亡くなって一人暮らし。家事もすべて自分でこなさなくてはなりません。以来、あまり長距離は歩かないなど、注意するようになったとか。では、肩のほうは？「手術が必要なんだって。しばらく入院は勘弁してほしいから、無理しないようカバーしているんだ」と、痛みとうまく付き合おうと、米原さんなりに努力しています。

「悪くなる前に、そのうちに病院に行くって、先生に伝えといて」

「わたしの生きがい」

情熱の対象は医業だけです

医療法人五省会理事長　西能正一郎

「心ある日本人を育てるお手伝いができれば、と思っています」

西能病院を開業して三十六年、とにかく医業にすべてを打ち込んできました。だから、趣味らしい趣味は、なにもありませんでした。

趣味というのは、打ち込める仕事があってこそ、その余暇で楽しむものだと思います。だから、医業の第一線を半ば退いた現在の私にとって、趣味がないのも仕方がないことかもしれません。でも、あれほど情熱を傾けた医業に取って代るものはないと思います。

ただ、ひとつ気になっているのは、教育のこと、子どもに対する躾です。というのも、十六才のとき、海軍兵学校で私は多大な恩を受けていますので、戦後の日本のためになにかお役に立つようなことをしなくては、と思っているんです。

そのためにも、かつてのような心ある日本人を育てるための努力を、なんらかの形でしたい。子どもたちの教育を考えたい。これが医業に次ぐ、現在の私の生きがいと言えるかもしれません。（談）

職場訪問学習

〝患者さんの笑顔が嬉しかった〟

西部中学二年生十人が思いやりの看護を体験

十一月二十五日の午前九時から行われた職場訪問学習では、生徒たちは血圧・脈拍測定をはじめ、入院患者様のご協力で洗髪や足浴、清拭などを体験。看護婦の指導のもと、熱心に取り組んでいた。次は生徒たちによる感想。

緊張しながらも笑顔で洗髪に取り組む生徒たち

島津優さん　とても緊張したが、患者さんの笑顔が嬉しかった。

杉本　恵さん　患者さんにありがとうと言われて嬉しかった。

田中万里さん　看護婦は患者さんにとって大切な存在だと思った。

中川春香さん　患者さんの体を拭く力加減がわからなくて困った。

林　美樹さん　お世話のあとの「ありがとう」が本当に嬉しかった。

岡島広恵さん　奉仕の仕事をやってみたい。

岡田知恵子さん　看護婦はやり甲斐のある仕事だと感じた。

藤橋夏織さん　患者さんの気持ち良さそうな笑顔が印象的。

田盛愛子さん　お世話した患者さんに涙で感謝されて、感動した。

山崎千尋さん　看護の仕事の大変さを知った。

西能病院の正月休みは元旦だけ

西能病院は、昭和六十三年四月から休日診療を行っております。正月は元旦だけ休みますが、二日から診療いたしますので、よろしくお願いいたします。

西能正一郎対談シリーズ

いまを生きる

「実は私も裸で寝ているんですよ」と西能理事長

医療人の心得と介護保険時代への対応を

悔いのない仕事を

明るい陽射しを浴びて新年の抱負を書いた。いつも思うことは健康で働けることの感謝と春、新人を迎える期待がある。医療界の厳しさに負けず悔いの無い良い仕事をしたい。頭の中に好奇心が湧いてくる。

（看護部長　坂倉ナミ）

真心をこめた治療を

今年は密度の濃い適切な治療の提供はもちろんですが、第一に医療人として患者さまへの思いやりを大切にし、言葉遣い態度に真心をこめより一層患者さまに信頼されるようリハスタッフ一同努めてまいります。

（リハビリテーション科　科長　荒井紀夫）

適確で情報量の多い画像を提供

高度医療に伴いMR・CTをはじめとする画像診断装置の発達はめざましく、画像診断の占める役割はますます大きくなってきています。これらの機器を熟知すると共に、適確かつ情報量の多い画像を医療の現場へ提供していきます。

（放射線科　科長　鎧　政行）

より高質な医療サービスの提供

病院への信頼と評価をより一層高めるため更なる資質向上を目指し、医薬品の適正使用や安全性対策等の充実に努め、より高質な医療サービスが提供できるよう、その義務と責任を果していきたいと思っております。

（薬剤科　科長　上田謙一）

信頼度の高い病院に

「人間ドック・健康チェック等は西能病院で!!」…知らなかったのだけれど…西能病院に来て本当に良かった…。

そんな会話が方々で聞けるいい病院、即ちまた来たくなるような信頼度の高い病院へと更に〈〈職員みんなで努力していきます。

（健康事業部長　山本二郎）

理念と目標を持って日常業務を

医療法の改正による制度改革、抑制される診療報酬、増加する一方の人件費など経営環境は一段と厳しいが、職員一同「信頼と奉仕」の理念と「目標」をたえず心に銘じ、日常業務を遂行すれば、厳しい中にも、必ず「光明」を見出すことができる。

（事務部長　渡辺裕之）

医療変革に対応する努力を

診療報酬請求は、近年著しく変化しています。今後、更に大きな医療変革が実施される事が予測され、医事課職員は一丸となって対応していくつもりです。また、接遇の向上にも、今まで以上に心がけ、皆様に気持ち良く診療を受けてもらえるよう努力していきたいと考えています。（医事課課長　五十嵐　均）

バランスのとれた食事作りを

一人でも多くの患者様に満足して頂けるよう色々工夫をこらし、バランスのとれた食事を栄養部全員で、取り組んでいきたいと、思っております。また、衛生面におきましても患者様には、安心して頂けるよう　努力します。（栄養部　副主任　大下　理）

より一層の合理化を

おととしより推めてきた院内情報システムの構築もようやく一段落しましたので、今年はそれを活用した会計システムを整備して管理的会計を進めると共に、定常作業のコンピュータ化を進め一層の合理化を図りたいと思います。

（経理部　西能渉）

病院目標

- 医療サービス、技術の向上
- 健全な病院経営
- 介護保険を含む高齢者医療の検討と対応
- 適正な治療計画の見直しと作成
- 五つの〝S〟の展開

新年を迎え、西能院長は前項の五つを目標に掲げた。このなかの「五つの〝S〟」とは、①清潔　②正確　③スピーディー　④誠意　⑤サービスの頭文字をとったもので、病院職員の心得として、院長自らの提言である。次は「信頼と奉仕」を目指す各部署からの新年抱負。

研究活動の成果を発表

第十回院内研究発表会

院内研究発表会は十二月二十日、呉羽ハイツ視聴覚室で開催。西能院長が「日本経済の不況が医療界にも影響を与え、すべての医療機関が生き残りをかけた、苦悩の一年でありました。これからの病院の運営には、一層の努力が必要と考えております。院内研究会も第十回を迎え、ひと区切りの開催です。皆様の努力で院内の定着した行事となったことに感謝いたします。今後の病院のレベルアップのためにも、演題のテーマ、内容が益々充実したものになるよう期待しております」とあいさつ。所属チームの代表が八演題を発表した後、講評と院長からの表彰が行われた。

演題の発表者と所属は次のとおり。

▽「反復する呼吸器感染症から離脱した症例のナーシングケア」看護部、発表＝平野多佳得、▽「大腿骨頸部骨折患者の日常生活動作に関する研究―日常生活動作（ADL）と老研式活動能力指標（IADL）の経時的な分析を通して―」看護部、発表＝横井幸乃　▽「院内研究の反省と今後の進め方」看護部、発表＝関待子　▽「局所麻酔下手術における音楽療法の効果―手掌部発汗量の変化から―」看護部、平山春美　▽「肩関節腱板損傷術後の治療成績について」リハビリテーション、発表＝種口智彦　▽「ハムストリングを用いた二重束前十字靭帯再建術」整形医局、発表＝根塚武　▽「臨床調理に於ける塩分管理について」栄養部、発表＝石田千尋　▽「直接クームス陽性により交差不適合となったRC―MAPの一例」検査室、発表＝山口明江

富山市の健康診査を受けましょう

●四十歳からの健康診査＝一般診査、心電図、血糖などの選択検査。

●各種がん検診（胃、肺・大腸）

●要再検の骨粗しょう症検診

受診の際は、ハガキ（受診券）を持参して下さい。

受診期間は平成十一年二月二十八日まで。お問い合わせは内科外来まで。TEL（〇七六四）四一―二四八一　内線　一一三四

迎春

特定医療法人　財団五省会　西能病院職員一同
タワークリニック職員一同

青石まり子　浅野裕　荒井紀夫　荒井英子　飯田喜美子　飯田啓子　池田司　五十嵐均　石倉喜一　石倉國子　石黒芳美　石田千尋　石田誠　石原元　稲川みどり　井上明子　井本恵美子　岩城真由美　上田謙一　薄井勲　碓井雅博　内山里美　栄田正枝　大浦春美　大下理　大島佐登美　太田きよ子　太谷香里　大村育子　岡田久美子　岡田文枝　奥平美和子　奥多妃都美　柿本善一　角真美奈子　角谷智恵子　金谷真希子　金野紘子　鹿尾真知子　川幡恭子　川原亜矢子　河辺信子　神田雅広

北村優子　木下文雄　木村明子　刑部和子　楠美和子　栗原純子　講神直美　駒沢みどり　酒井恵一　小松みち代　小松恵子　後田千鶴　斉藤聡子　西能正一郎　西能紘　西能綾子　西能渉　正路真規子　庄司絹子　清水幸恵　嶋田美和　七間由美子　坂本之子　坂倉ナミ　坂上雅子　坂田道子　坂井亜紀　西能恵　布村麻衣子　根塚武　長谷近子　林泰治　林外子　早瀬とし子　原田洋美　平井幸二　平井達也　平岡久海子　平野多佳得　横井幸乃　横井佐敏　用水とも子　山本真由美　山本二郎　山本久美子　山中陽子　山谷曜子　山田真佐子　山田真希　山下眞由美　山崎関子　山崎敦子　山口明江　森田忠秀　森川美知子　森口佳子　森盛小織　村井紀子　村井悟　森川弘明　森田勉　飛田よし子　戸田静彦　坪内奈津子　出路和美　土田和美　宮田由志美　宮崎達也　宮田克雄　塚田まり子

正路真規子　山田清　山本二郎　山崎敦子　山口明江　山田真佐子　山田真希　山下眞由美　山崎関子　山下久代　山崎寿美　山崎晴美　吉崎智　吉田美和子　吉井良洋　吉村光春　米原恭子　鎧政行　鎧貢　波辺裕之

以上、百七十人
五十音順、
平成十一年一月一日現在